



4. 特許出願、論文発表等、及びトピックス

国内出願	外国出願	研究論文	その他研究発表	標準化提案・採択	プレスリリース 報道	展示会	受賞・表彰
0 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (8)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)

※成果数は累計件数、( )内は当該年度の件数です。

(1) 学会発表と展示会発表

令和2年度は8件の研究発表を行った。また、1件の展示会発表を行った。

- IEEE GCCE 2020 にて4件の成果発表を行った。
- IEEE ICCCI 2020 において本研究開発の内容を含むキーノートスピーチを行った。
- IEEE BigData 2020 の Global Road Damage Detection Challenge 2020 にて道路損傷個所検知のコンペティション参加を行った。
- 電子情報通信学会の研究会において1件の成果発表を行った。
- 早稲田大学のオープンイノベーションフォーラム2021にて1件の成果発表を行った。
- NICT主催のADVNET 2020にて発表を行った。

(2) 広報活動

本研究開発のWebページを以下に作成し、公開している。

<https://www.katto.comm.waseda.ac.jp/~katto/e-bike/>

5. 研究開発成果の展開・普及等に向けた計画・展望

- 本研究開発で取得し、アノテーションを行った画像群に関して、プライバシー保護を施した上でオープンデータとして公開することを検討している。合わせて、本研究開発で開発したツール群に関しても、オープンソースとしての公開を検討している。
- 国際会議 IEEE BigData 2020 において開催された道路損傷個所検出に関わるコンペティション Global Road Damage Detection Challenge に、今後も継続的に参加を行い、上位進出を目指す。
- 本研究開発に関係する物体検出、距離推定、点群セグメンテーションの SOTA は頻繁に更新されており、本研究開発終了後も継続的に調査を行うと共に、独自手法の開発を進める。
- 本研究開発終了後も、関連する研究開発テーマで国内外の学会、展示会、Webページを通じた研究成果の発信を継続し、企業、自治体との連携を強めると共に、企業との共同研究申請の検討を進める。
- エンドホスト(本研究開発の場合は自転車)とクラウドシステムの通信手順、データフォーマット、API 等に関して、スマートシティ等の国際標準化への貢献を検討する。